

科目名	図画工作Ⅰ		科目コード	2014
開講学科	初等芸術教育学科	単位数	形態	面接授業
教員名	金田恵美子			
授業の目的及びテーマ				
<p>初等教育の中での図画工作の必要性を十分に理解し、教える立場の教師自身が図画工作、あえて言うならば美術全般に興味と関心を持ち、「描く」「つくる」を素直に楽しめる人材である事が望ましい。苦手意識を前に出さず視点を変えて楽しめる「何か」を発見し、又再認識して欲しい。</p>				
授業概要				
<p>三日間の流れは1日目は平面(図画=描く)、2日目は立体(工作=つくる)、3日目は児童画の観察と研究とする。前半の2日間は実作する事により各自の眼と手の不確かさを実体験していく。デッサンの完成描画の完成を実感して貰いたい。中途半端な声かけに終わらず、指導者自身が造形の喜びや楽しさを熟知した上で、子ども達に寄り添える様、体験学習を通して学び、各自に内在されている創作能力を認知してもらいたい。</p>				
授業計画				
<p>第1回：平面(図画) 絵を描くことをモノクロームから始める。</p> <p>第2回：りんごをよく観察し鉛筆デッサンする</p> <p>第3回：りんごをよく観察し鉛筆デッサンする</p> <p>第4回：りんごを素材とし、りんごから湧き出て来るイメージを原動力として、彩色画を描く</p> <p>第5回：色からのイメージ増幅(色の心理学の解説。形からのイメージ増幅(形の心理学の解説)</p> <p>第6回：立体(工作) 段ボールでりんごをつくる</p> <p>第7回：平面である段ボールを立体化させる為の工夫とその制作ポイント</p> <p>第8回：絵棒を材にしてバターナイフと箸をつくる</p> <p>第9回：バターナイフをどんな形にするのかアイデアスケッチを制作、角材からの削り出しで立体認識を学習する</p> <p>第10回：観察と研究(児童書の観かた、感じかた)</p> <p>第11回：幼稚園、小学校の多数の児童画を観察し、子どもの成長過程を辿りながら、学年別にその特徴をまとめる一論述</p>				
テキスト		参考文献		
評価方法：				
<p>面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>				